

なつかしい孵化場時代

田嶋 良行

みなさんお久しぶりです。

私は、平成6年4月1日から平成8年3月31日まで、水産孵化場で総務係長として在籍、縁あって約20年振りにさけます・内水面水産試験場へサケのように回帰し、主査（総務）で勤務することになりました、万年係長の田嶋です。どうぞよろしくお願ひします。

総務課のロッカーを見ると、当時の書類が未だ残っており、記憶がよみがえりますが、大した仕事をしてなかったことを反省させられます。

しかし、仕事以外では、野球やバレーボールの大会には積極的に参加し、特にバレーボールでは、道職員による石狩大会で3位という輝かしい成績を収めることができました。当時は、小出さんも若々しくエースアタッカーとして活躍し、私もブロッカーとして貢献しました。

また、場内には独身者が多く、3件の結婚式に出席させていただき、「踊るポンポコリンのお遊戯」、「絶縁状」、「トランスレーター」などの余興の出演や演出を手がけ、万雷の拍手喝采を受けステージで有頂天になりました。

さらに、福利厚生事業では卓球大会、ボーリング大会、ミニバレー大会など実施したところであります。

忘れてはならない出来事がありました。それは、私の向かいの部屋にカナダからの招聘研究員であるジムさん一家が半年間入居したことであります。私も妻も英語が苦手なので、親切にしたいが言葉の壁があつてなかなか思うようにいかなかった思いがあります。

山のように失敗談がありますが、最後のエピソードを紹介します。

ジムさん一家と帰国の前日に茶話会を行い、その中

で昆布醤油の作り方を教えました。

翌日の出発時に孵化場の関係者で公宅前で見送りをすることになり集まっていたところジムさんから「醤油マイ・ルーム」と言うので、私は「昆布醤油、もう作ったの？」と言うと、誰かが「田嶋さんに部屋を見てと言っているよ」と言われ、本当は「ショー・ユー・マイ・ルーム」と言っていたのです。やはり英語は苦手だなと思ひました。ジムさんとの付き合いは万事がこのような事ばかりでした。「ランチ」と「レンチ」発音事件など山ほどありますが、聞きたい方は、私を訪ねてきてほろ酔いセットでお話しします。

やっど、依頼された原稿A4一枚に達することが出来そうなので、最後に水産孵化場から異動後の経歴を紹介します。水産孵化場から蘭越町役場産業課に2年、その後、釧路支庁水産課漁政係長2年、社団法人北海道水産会1年、漁業管理課国際漁業G4年、漁業管理課さけますG2年、水産経営課担い手G4年、漁業管理課指導取締G2年、漁業管理課国際漁業2年そしてこのたびの異動です。

着任してびっくりしたのが、職員の平均年齢の高いことでした。もう、過度な動きをするスポーツ大会は無理かなと感じましたので、別な方法で親睦を深めたいと考えています。

したがって、こんな事、あんな事をしようよと皆さんから声をかけていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

(総務課 たじま よしゆき)